

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院で頸動脈ステント留置術を行った患者さんへ

和歌山県立医科大学附属病院中央放射線部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

頸動脈ステント留置術における血管径計測精度の検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部 主査 室谷和宏

3. 研究の目的

当院では脳血管内治療を行っています。脳血管内治療は脳動脈瘤コイル塞栓術や頸動脈ステント留置術等があります。いずれも術前の重要な情報を得るためにCTや血管撮影検査を行うことで血管径を計測します。さらに術中に血管撮影装置や血管内超音波を用い、正確な血管径を計測します。しかしながら、どの方法で計測した血管径が正確で計測精度が優れているのかは未だに解明されておられません。この研究はモダリティやデバイス間に計測精度に乖離が存在するのかを明らかにすることが目的です。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

令和2年4月1日から令和4年3月31日までの期間中に、頸動脈ステント留置術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、内頸動脈の血管径に関する情報です。

(3) 方法

CT、血管撮影、血管内超音波を用い内頸動脈の血管径を元に解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部 氏名：室谷和宏

TEL：073-447-2300(内線 2240) FAX：073-441-0512 E-mail：pba-ktyf@wakayama-med.ac.jp